

VI. 薬効薬理に関する項目

1. 薬理的に関連ある化合物又は化合物群

シニストリン (sinistrin)

注) 本邦未承認薬である。

2. 薬理作用

(1) 作用部位・作用機序

イヌリンは薬理活性を有しないことが報告されている^{11, 12)}。

(2) 薬効を裏付ける試験成績

静脈内投与されたイヌリンは、糸球体毛細血管を自由に透過し(透過率 Kinulin=1.06)、尿細管では分泌も再吸収もされないことから糸球体ろ過量(GFR)測定のための標準物質として用いられており、真の GFR を示すとされている^{11~14)}。

(3) 作用発現時間・持続時間

該当しない